

◆ 調査の目的

福井市観光振興計画の基本施策の中で、特に一般市民と関わりの深い施策について、その推進の指標とするため調査を行いました。

また、観光客向けには「おもてなし体験便り」等のアンケートを行っていますが、市民の意識について確認するため調査を行いました。

詳しい設問と選択肢は「平成 28 年度 福井市民意識調査報告書」101 ページを、調査結果は 54 ページからご覧ください。

調査の結果、観光客に自分から声かけをする方は全体の 3 割、福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができるという方は全体の 5 割でした。

観光客の方に「おもてなし」の気持ちを伝えるためには、こちらから笑顔で挨拶や声かけをすること、福井の良いところを自分の言葉で説明することが大切です。

今回の調査結果をもとに、おもてなし講習会や研修をさらに充実させていきます。

★おもてなし講習会の開催

福井しあわせ元気国体競技別プレ大会のボランティアの方を対象に、おもてなし講習会を実施します。講習会は毎年受講対象者を変えて実施します。

★おもてなし接客術研修の開催

観光関連事業者の方や、タクシー乗務員の方を対象に、実際の接客に役立つ研修を実施します。

★観光おもてなしマイスター認定制度の実施

観光の知識があるだけでなく、笑顔で温かくお客様をお迎えできる方を、おもてなしの達人として認定します。



◆ 調査の目的

毎年実施している人権啓発活動等の効果を確認するため、調査を行いました。

詳しい設問と選択肢は「平成 28 年度 福井市民意識調査報告書」102 ページを、
調査結果は 56 ページからご覧ください。

調査により「子ども」（全体の 32.1%）の人権課題への関心が高いことが分かったため、平成 28 年度においては、例年の啓発活動行事に加え、子ども向けの人権啓発の取組を拡充しました。

★ 子ども向けの人権啓発

市立図書館、みどり図書館、桜木図書館で実施している、子ども向けの人権に関する絵本や児童図書を紹介する特設コーナーの開設を、清水図書館と美山図書館にも拡充しました。



◆ 調査の目的

福井市では、男女共同参画社会の実現に向け、市民の男女共同参画についての意識向上を図るため、様々な施策に取り組んでいます。併せて、近年は女性の活躍を支援する施策も強力に推し進めています。

そこで、今後の施策の方向性を見出すため、市民の男女共同参画及び女性の活躍支援に関する意識と実態を調査しました。

詳しい設問と選択肢は「平成 28 年度 福井市民意識調査報告書」102 ページを、調査結果は 57 ページからご覧ください。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という設問について、昨年度調査と比較してほぼ横ばいの結果となりました。

「仕事よりも家事や子育てを優先したい」という設問について、「思う」割合は女性 67.5%、男性 49.0%で、若い世代ほど高い傾向にありました。

「企業の管理職や団体の役員に女性を積極的に登用すべきだ」という設問について、69.1%の市民が「思う」と回答されました。

平成 28 年度も、家庭、地域、職場において男女共同参画の意識醸成のため、また、職場等における女性の活躍推進のため、以下の各種講座・セミナーの啓発事業を実施しました。

今後も市民の皆さんや男女共同参画推進員と連携し、様々な手法を用いて事業に取り組んでいきます。

★ 各種講座・セミナー等の開催

講座・セミナーへの参加を通じて、男女共同参画について考え、実践していく手法を学んでいただきました。

★ 男女共同参画推進員による地域における啓発活動

各公民館から選出された 98 名の男女共同参画推進員の皆さんに、地域における啓発に取り組んでいただきました。

★ 『福井市男女共同参画市民フォーラム』の開催

市民を対象に男女共同参画について、また企業を対象に女性の活躍について、理解を深めていただくためのイベントを開催しました。

★ 福井市第 5 次男女共同参画基本計画（平成 29 年度～33 年度）の策定

今までの取組及び男女共同参画に関する市民の意識調査の結果を踏まえ、問題点等を整理し、「福井市第 5 次男女共同参画基本計画」を策定しました。



◆ 調査の目的

福井市スポーツ推進計画の実現に向け、運動・スポーツに関する市民意識の実態を把握するため、調査を行いました。

詳しい設問と選択肢は「平成 28 年度 福井市民意識調査報告書」102 ページを、調査結果は 64 ページからご覧ください。

調査の結果、全体の 49%の方が週 1 回以上運動・スポーツを行っていますが、36%の方からは、ほとんど運動・スポーツを行っていないとの回答を得ました。その理由としては、全体の半数以上の方から「仕事が忙しくて時間がない」、「機会が無かったため」との回答を得ました。

また、今後行いたいスポーツとしては、「ウォーキング」「体操」「テニス・バドミントン、卓球」「水泳」の順に割合が高いとの回答を得ました。

スポーツ課では、幅広い年齢層の方々に対し、都合のよい時間で手軽な体操やウォーキング等に親しめるように生涯スポーツ推進事業に取り組んでおり、今後も継続的に魅力ある大会・イベントを開催していきます。

大会や教室の開催案内につきましては、市HPや「市政広報ふくい」等でご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

★スポーツ教室

昼・夜の部に分け、誰もが無理なくできる程度の健康体操教室を開催しています。

★ファミリーウォーク・ファミリーミニマラソン

親子や家族で参加できる、体育機会の向上や健康増進を目的とした屋外でのスポーツイベントを開催しています。

★ニュースポーツやレクリエーション大会



◆ 調査の目的

福井市の文化芸術活動の拠点である文化会館は、老朽化や耐震性能の不足といった問題により、再整備の検討が必要となっています。再整備に向けた基本構想・計画策定の参考とするため、市民の意向を調査しました。

詳しい設問と選択肢は「平成 28 年度 福井市民意識調査報告書」104 ページを、調査結果は 67 ページからご覧ください。

全体の 54.5%の方が「本格的な舞台機能・音響設備等を備えた大規模ホール」を機能として求めていること、また、全体の 58.8%が芸術（文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊等）の分野に興味があることなどの意見を、「福井市文化会館整備基本構想」に反映しました。

★調査結果を、市民意見の一つとして「福井市文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会」に提示

★調査結果を、「福井市文化会館整備基本構想 資料編」に掲載



◆ 調査の目的

福井市は、平成 27 年 10 月に「広報ふくい」紙面をリニューアルしました。新しい「広報ふくい」に対する市民の反応を確認し、市民が興味をもつ内容に改善するため、調査を行いました。

詳しい設問と選択肢は「平成 28 年度 福井市民意識調査報告書」105 ページを、調査結果は 71 ページからご覧ください。

「健康、福祉」と「観光、文化」についての内容に関心が高いという結果を受けて、平成 29 年度では、福祉や保健、イベントに関する情報を、拡大記事として通常より大きく紙面を使い、内容を詳しく掲載することにしました。



◆ 調査の目的

福井市では総合計画に基づいた計画的な行政運営に取り組んでいます。第六次総合計画(平成24～28年度)に基づく取り組みの成果の目安とするため、及び第七次総合計画(平成29～33年度)の策定にあたり参考とするため、調査を行いました。

詳しい設問と選択肢は「平成28年度 福井市民意識調査報告書」107ページを、調査結果は75ページからご覧ください。

計画期間を平成24年度から28年度とする第六次総合計画では、将来都市像「自然・活気・誇りにみちた 人が輝く かえりたくなるまち ふくい」の実現を目指し各種施策に取り組みました。

計画の最終年度にあたり、成果をはかる指標の一つとして福井市の住みやすさについて調査したところ、全体の89.5%の方から「福井市は住みやすい」との回答を得ました。このことから、総合計画に基づき取り組んできた施策の効果が表れていると考えられます。

次期計画の第七次総合計画では「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」を将来都市像に定め、誰もが住みたい、住み続けたいと思える福井市づくりを進めていきます。



◆ 調査の目的

福井市では、平成 22 年に〔改訂〕福井市都市計画マスタープラン（都市計画マスタープラン）を策定し、その中で『暮らしの豊かさを実感できる「歩きたくなる」まち』を都市づくりの理念として掲げています。

その理念に基づく都市の将来像の実現を目指すため、都市計画マスタープランの達成状況について評価・検証を行い、施策等の達成度や効果を計る指標として、市民意識調査による市民の皆さんの評価を一部取り入れています。平成 28 年度においても施策等の達成度や効果を把握する必要があり、また立地適正化計画策定の参考とするため、調査を行いました。

詳しい設問と選択肢は「平成 28 年度 福井市民意識調査報告書」108 ページを、調査結果は 77 ページからご覧ください。

中心市街地に訪れる割合については、全体の半数の方から「月に 1 回以上」中心市街地に訪れているとの回答を得ました。この結果を踏まえ、中心市街地においては、更に多くの人に訪れていただけるよう、自然や歴史資源を活かしながら、にぎわいのある魅力的な空間づくりに取り組んでいきます。

バス・鉄道の利用状況については、日常生活でバス・鉄道を「利用している」と回答した人は 11.3%となっており、「利用していない」と回答している人は 87.2%となっています。この結果を踏まえ、更に多くの人にバス・鉄道を利用してもらえるよう、公共交通の利用促進に取り組んでいきます。

住んでいる地区の緑や自然について豊かだと感じるか、については、全体の 7 割以上の方から「そう感じる」との回答を得ました。この結果を踏まえ、将来都市像である「自然環境との共生・調和を基本とした水と緑あふれる都市」の実現を目指し、緑化の推進や自然環境の保全・活用に取り組んでいきます。

県都としての魅力を高めるために中心市街地に必要な施設とはどのような施設だと思うか、については、全体の 6 割の方から「百貨店など」との回答を得ました。この結果を踏まえ、平成 29 年 3 月に策定、公表しました「福井市立地適正化計画」の誘導施設として「百貨店」を定めております。

鉄道のニーズなどに関する調査結果については、「福井市立地適正化計画」の居住誘導区域の検討において参考にさせていただきながら、区域設定に取り組んでまいります。



◆ 調査の目的

福井市では、健康増進法第8条第2項に基づき、市民の健康づくりの推進と定着を目的に、平成28年度から平成33年度までの6年間の計画期間とした第2次健康増進計画「健康ふくふくプラン21」を策定しました。

その中で、「元気体操21」の普及啓発を図ることとしています。関係団体等とも協働し、市民の健康づくりを支援することとしていますが、取組の進捗状況の評価及び市民の健康づくりの推進、定着状況の評価に活用するため、調査を行いました。

詳しい設問と選択肢は「平成28年度 福井市民意識調査報告書」110ページを、調査結果は84ページからご覧ください。

平成28年度福井市市民意識調査において、健康づくりでは、年齢の高い世代で「元気体操21」や「ずっと健康101宣言!」を知っている方や、日常生活の中で運動を行っている方の割合が高くなっている結果が出ました。

また、約9割の方が積極的に「野菜を食べている」と回答される中で、性別では男性より女性の方が10ポイント近く高い結果が出ました。

これらの結果をふまえ、平成29年度は、若い世代に対して正しい生活習慣の定着や生活習慣病の予防を図ることを目的に、以下の取組を実施します。

★協会けんぽとの連携

働く世代に対し、生活習慣病の予防や健康づくりに関する知識の普及啓発を図るため、協会けんぽを通じ、企業等に保健センターで実施している健康教室や健康相談会を周知します。

★出張健康講座の開催

市内に在住または勤務する18歳～60歳までの方を対象に、企業や団体、グループに出張し、健康教室を実施します。

29年度は市民おしながき講座のメニューにも掲げ、周知拡大を図ります。

★ベジ・ファースト応援企業・応援店「ベジ・すぽっと」の募集

企業ぐるみで積極的にベジ・ファースト（野菜から食べること）に取り組み、健康づくりを推進する企業をベジ・ファースト応援企業として認定します。また、野菜を販売するにあたりベジ・ファーストを推進し、メニューに野菜をたくさん取り入れている量販店や飲食店を「ベジ・すぽっと」として認定します。食生活に野菜を取り入れることを意識、実践していただけるような環境づくりを目指します。



◆ 調査の目的

市民組織や事業者が行う環境保全活動として、どのような活動が必要と思うかを調査し、今後、福井市環境推進会議の会員をはじめとする事業者等への働きかけに活かすため、調査を行いました。

詳しい設問と選択肢は「平成 28 年度 福井市民意識調査報告書」111 ページを、調査結果は 89 ページからご覧ください。

「市民組織が行う環境保全活動」として「地域における清掃などの美化活動」が 58.8%と最も高く、次いで「地域の水辺や緑と親しむ運動」が重要であるとの回答を得ました。第 3 次福井市環境基本計画の基本方針であります「快適な暮らしを守り、水と緑が豊かな都市環境を創出する」ため、今後も地域の清掃活動や河川・公園の美化活動の推進に取り組んでまいります。

「事業者が行う環境保全活動」として「事業所周辺における公害の未然防止」が 46.7%と最も高い回答を得ました。公害の未然防止のため、各種法令に基づく事業所への立入調査及び指導を引き続き行うとともに、事業者の環境配慮意識の啓発と向上を目的とした環境配慮企業サポート事業を行ってまいります。また、事業者の環境意識をさらに高めるため、平成 29 年度は、環境講座「ふくい環境ゼミナール」のテーマを事業者向けの「CSR（企業の社会的責任）」や「企業が取り組む CO2 削減」としました。

